

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	高校	3年	1/2/6/7 組	
単位数	4	使用教科書 補助教材等	Praxis Level 2/3(Z-KAI), 大学入試レベル別英語長文問題集THE LEVELS 2(旺文社)					
担当者	高尾		Listening ACE 10 Upgraded(美誠社), 共通テストドリル英語リーディング10minutes 大学入試共通テスト 対策Reach40(Reading) Reach30(Listening)					
学習目標	授業内でListening ACE10、朝テストでリーディングドリルを継続的に行い、2学期以降はReach40と30において共通テスト強化対策をする。授業では、様々なテーマの英語を読み、語彙力や背景知識を含め、本文の内容を深く理解することを主眼とし、大学入試に対応できる実践的な読解力を養う。また、4技能を用いた活動を取り入れ、実際のコミュニケーションやその場に応じて活用できる英語力を習得することを目標とする。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト・朝テスト 授業内の言語活動		定期テスト 授業内の言語活動		宿題 授業内の言語活動 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	Listening ACE 10 Upgraded Praxis2(Stage1 No. 1~7) Praxis2(Stage2 No. 1)	(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson1~5	共通テストドリル英語リーディング 10minutes(朝テスト)		21	1 学期 中間 考査	
	5	Praxis2(Stage2 No. 2~Stage3 No. 2)						
	6	Praxis2(Stage3 No. 3~6) Praxis3(Stage1 No. 1~Stage2 No. 4) Listening ACE 10 Upgraded				18	1 学期 期末 考査	
	7	(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson6~10						
8								
2	9	Praxis3(Stage2 No. 5~Stage3 No. 7) Listening ACE 10 Upgraded Praxisのテーマの類題(入試問題過去問)			20	2 学期 中間 考査		
	10	(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson11~15						
	11	Listening ACE 10 Upgraded 大学入試共通テスト(リーディング)対策Reach40, 30				20		
12								
3	1							
	2							
	3							

教科名	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	高校	3年	3,4,5,8,9 組		
単位数	4	使用教科書 補助教材等	Praxis Level 2(Z-KAI), 大学入試レベル別英語長文問題集THE LEVELS 2(旺文社)						
担当者	阿部(裕) 松下		Listening ACE 10 Upgraded(美誠社), 共通テストドリル英語リーディング10minutes 大学入試共通テスト 対策Reach40(Reading) Reach30(Listening)						
学習目標	授業の最初にListening ACE10、朝テストでリーディングドリルを継続的に行い、2学期以降はReach40と30において共通テスト強化対策をする。授業では、様々なテーマの英語を読み、語彙力や背景知識を含め、本文の内容を深く理解することを主眼とし、大学入試に対応できる実践的な読解力を養う。また、4技能を用いた活動を取り入れ、実際のコミュニケーションやその場に応じて活用できる英語力を習得することを目標とする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト・朝テスト 授業内の言語活動		定期テスト 授業内の言語活動、グループワーク		宿題 授業内の言語活動、グループワーク 授業態度				
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト1~6) Praxis(Stage1 No.1~5)		(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson1~5		21	1	1 学期 中間 考査	
	5								
	6	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト6~12) Praxis(Stage1 No.6~Stage2 No.3)		(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson6~10		18	1	1 学期 期末 考査	
	7								
8									
2	9	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト12~18) Praxis(Stage2 No.4~Stage3 No.1)		(自宅学習・試験範囲に含む) THE LEVELS2 Lesson11~15		20	2	2 学期 中間 考査	
	10								
	11	Listening ACE 10 Upgraded(ミニテスト19~24) 大学入試共通テスト(リーディング)対策Reach40, 30				20	2		
12									
3	1								
	2								
	3								

教科名	英語	科目名	自選英語総合B	履修学年	高校	3年	1～9組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	近年の大学入試問題より抜粋したプリント					
担当者	松下							
学習目標	授業の最初に単語・熟語テストを行い、語彙の定着を図る。プリントで、焦点をしぼって大学の過去問題を解かせていき、内容の理解を深め、大学入試に対応できる力を養成する。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞く・読む・書く・伝える技能を身に付けている。		コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理性に注意して話したり、書いて伝えている。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期テスト・熟語テスト 授業内の言語活動		定期テスト・熟語テスト 授業内の言語活動、グループワーク		宿題・振り返りシート 授業内の言語活動、グループワーク 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	4月22日 プリント①(日東駒専レベル1)		熟語テスト①		4	1 学期 中間 考査	
	5	5月13日 プリント②(日東駒専レベル2)		熟語テスト②				
		5月20日 中間試験						
		5月27日 プリント③(日東駒専レベル3)		熟語テスト③				
	6	6月3日 プリント④(日東駒専レベル4)		熟語テスト④		8	1 学期 期末 考査	
6月10日 プリント⑤(日東駒専レベル5)		熟語テスト⑤						
6月17日 プリント⑥(日東駒専レベル6)		熟語テスト⑥						
7	6月24日 期末試験				8			
	7月8日 プリント⑦(成成明学獨国武レベル1)		熟語テスト⑦					
2	9	9月9日 プリント⑧(成成明学獨国武レベル2)		熟語テスト⑧		6	2 学期 中間 考査	
		9月30日 プリント⑨(成成明学獨国武レベル3)		熟語テスト⑨				
	10	10月7日 中間試験				6	2 学期 期末 考査	
		10月21日 プリント⑩(成成明学獨国武レベル4)		熟語テスト⑩				
		10月28日 プリント⑪(成成明学獨国武レベル5)		熟語テスト⑪				
11	11月11日 プリント⑫(成成明学獨国武レベル6)		熟語テスト⑫		6			
	11月18日 プリント⑬(入試総合問題1)		熟語テスト⑬					
12	11月25日 プリント⑭(入試総合問題2)		熟語テスト⑭		6			
	12月2日 プリント⑮(入試総合問題3)		熟語テスト⑮					
3	1							
	2							
	3							

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅲ	履修学年	中学・高校	3年	1.2/6.7	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	世界を読み解く 英語リーディング(アルク)						
担当者	小松/高尾/金岡		VISION QUEST論理表現Ⅲ(啓林館)・サブノート 入試必携英作文(数研出版)						
学習目標	英語の技能・知識のみならず、世界で起きている諸問題(環境問題・難民問題・戦争・飢餓など)についての知識を英文を通して会得し、問題解決に向けた自分の意見を協働議論を通して構築する。最終的には、医療支援、教育支援、自立支援、経済支援、平和活動のために、何が出来るかを考え、具体的な形とする。同時に、入試突破に向けた読解力、英作文力を磨く。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	未知の素材に対する読解、聴解力が身についている。世界を取り巻く様々な社会問題についての基礎知識が身についている。		環境問題、地雷、貧困、難民、飢餓などの諸問題について、基礎知識を基に自らの意見を構築し、英語で議論したり伝えあったりできる。		世界を読み解こうとする意欲 意見を持ち、仲間との議論に積極的に取り組む				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 パフォーマンステスト		パフォーマンステスト				
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	UNIT1 エコ商品 UNIT2 エコカー UNIT3 企業の環境意識		UNIT4 エコ改築 UNIT5 絶滅危惧種の保護 ☆毎時間、背景知識の確認、英文読解、英語での議論を行う			10	中間 考査	パフォー マンステ スト①
	5	UNIT6 エコツーリズム ディベート「エコツアーに賛成?反対?」 UNIT7 環境問題と南北問題		環境サミット”Eco-friendly Japan”(パフォーマンステスト・発表) 『入試必携英作文』を用いた、英作文の入試対策(学習法)も随時取り扱う予定。					
	6	UNIT8 地雷のある世界 UNIT9 難民のいる世界 ディベート「日本は難民を積極的に受け入れるべきか」		UNIT10 飢餓のある世界 ディベート「先進国の人々は牛肉を食べるのを控えるべきか」 UNIT11 格差のある社会			12	期末 考査	パフォー マンステ スト②
	7	パフォーマンステスト トリオディスカッション							
8									
2	9	UNIT12 医療支援 UNIT13 経済支援 UNIT14 教育支援		UNIT15 自立支援 UNIT16 平和への祈り 発表活動			9	学年 末考査	パフォー マンステ スト③
	10	パフォーマンステスト トリオディスカッション 考査終了後は、教科書『Vision Quest論理表現Ⅲ』より、新共通テスト形式の演習や、入試頻出テーマ、あるいは出題が予想されるテーマを用いた議論、英作文演習を行う。							
	11								
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅲ	履修学年	中学・高校	3年	3～5/8～9	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	世界を読み解く 英語リーディング(アルク)						
担当者	小松/高尾/金岡		VISION QUEST論理表現Ⅲ(啓林館)・サブノート						
学習目標	英語の技能・知識のみならず、世界で起きている諸問題(環境問題・難民問題・戦争・飢餓など)についての知識を英文を通して会得し、問題解決に向けた自分の意見を協働議論を通して構築する。最終的には、医療支援、教育支援、自立支援、経済支援、平和活動のために、何が出来るかを考え、具体的な形とする。同時に、入試突破に向けた読解力、英作文力を磨く。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	未知の素材に対する読解、聴解力が身についている。世界を取り巻く様々な社会問題についての基礎知識が身についている。		環境問題、地雷、貧困、難民、飢餓などの諸問題について、基礎知識を基に自らの意見を構築し、英語で議論したり伝えあったりできる。		世界を読み解こうとする意欲 意見を持ち、仲間との議論に積極的に取り組む				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 パフォーマンステスト		パフォーマンステスト				
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	UNIT1 エコ商品 UNIT2 エコカー UNIT3 企業の環境意識		UNIT4 エコ改築 UNIT5 絶滅危惧種の保護 ☆毎時間、背景知識の確認、英文読解、英語での議論を行う		10	中間 考査	パフォー マンステ スト①	
	5	UNIT6 エコツーリズム ディベート「エコツアーに賛成?反対?」 UNIT7 環境問題と南北問題		環境サミット”Eco-friendly Japan”(パフォーマンステスト・発表)					
	6	UNIT8 地雷のある世界 UNIT9 難民のいる世界 ディベート「日本は難民を積極的に受け入れるべきか」		UNIT10 飢餓のある世界 ディベート「先進国の人々は牛肉を食べるのを控えるべきか」 UNIT11 格差のある社会		12	期末 考査	パフォー マンステ スト②	
	7	パフォーマンステスト トリオディスカッション							
8									
2	9	UNIT12 医療支援 UNIT13 経済支援 UNIT14 教育支援		UNIT15 自立支援 UNIT16 平和への祈り 発表活動		9	学年 末考査	パフォー マンステ スト③	
	10	パフォーマンステスト トリオディスカッション							
	11	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 考査終了後は、教科書『Vision Quest論理表現Ⅲ』より、新共通テスト形式の演習や、入試頻出テーマ、あるいは出題が予想されるテーマを用いた議論、英作文演習を行う。 </div>					12		
	12								
3	1								
	2								
	3								